

# 子どもの安全確保に関する連絡協議会 市町教育委員会実践報告 (防災教育)

令和5年2月2日に開催しました協議会にて、各市町より防災教育に関連した実践を報告いただきました。

## 目的

災害安全教育に係る情報共有や危機意識の高揚

## 取組

令和4年8月1日 キラリエ草津にて実施

- ①しがマイ・タイムラインについて、防災危機管理局・桂田氏より講義
- ②危機管理マニュアルの点検

## アンケートより

### ①しがマイ・タイムラインについて

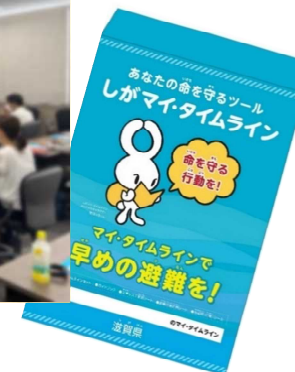
- ・しがマイ・タイムラインというものがあることが分かり、教材として活用できそうだったと思った。
- ・子ども達が安全を確保し、自分の生命を守るための行動を正しい判断のもとできるよう防災教育を進めていかなければならないと思いました。
- ・しがマイ・タイムラインについて今まで詳しく知らなかったのですが、今回指導の仕方をわかりやすく教えていただいたので、ぜひ子どもたちと一緒に考える時間を取りたいと思いました。

### ②危機管理マニュアル

- ・普段、なかなかふりかえる機会がないので、時間をとっていただいて危機管理マニュアルをふりかえることができてよかったです。
- ・今までのを踏襲したものではなく、見直しをかけていくことは、大切と感じました。特に慌ただしい4月当初にすることもあり、どうしてもそうなってしまっていました…。改めてこの時期にさせていただくのはよかったです。

・しがマイ・タイムラインの活用については、市内小中学校に通知していたが、あまり活用まで意識が向いていないため、連絡会を通じて、機会を設けることも大切である。

・危機管理マニュアルの確認・更新には莫大な時間がかかることから、後回しになりがちだということが露呈した。危機対応や対外的に必要なものでもあるため、継続した取組が必要である。



## 振り返り



## 学校安全教育について (野洲市【災害安全】 \*一部生活安全も含む)

## &lt;取組事例&gt;

## 事例① (野洲北中学校)

○地域が主体となって実施する防災訓練に生徒が参加。

- ・学校地域連携活動を始動させるための方策として、地域防災をキーワードに地域のなかで中学生が活躍する場として第一弾の取り組みを始めた。(本年度より)自治会長と連携しながら進めており、現時点では地域が主体となっている。

## 事例② (中主中学校)

○「日頃からお世話になっている地域の方々に恩返しをしよう！」と題し、毎年夏休みと冬休みの2回、全校生徒による地域貢献活動を実施。

- ・各地区に分かれて、自分の住む地域の防災活動を行なっている。  
消防機器の点検・夜警活動・地域のパトロール など

### 事例③（野洲小学校）

○地域の防災について、インタビューや地域巡りを実施。

- ・総合的な学習の中で4年生が実施。学級担任が中心になって、地域関係者と連絡調整をしている。自治会長等防災を担う方々から話を伺う等している。

### 事例④（中主小学校）

○不審者対応訓練

- ・警察と連携した避難訓練（シナリオレス）→引き渡し訓練（1年生のみ）
- ・けが人有想定で、救急要請&市教委に応援要請

○水害訓練（垂直避難）（浸水想定：50cm～1m）

- ・滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室との連携→指導助言等
- ・プレハブ校舎の児童は、新館上階に避難→階段の混雑をさける誘導
- ・家庭で保護者にかえす（HP等）

# 【高島市】学校安全教育の取組

(高島市立湖西中学校の学校地域合同防災学習の取組より)

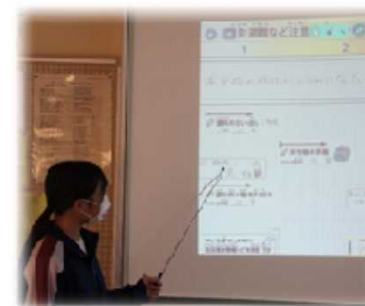
## ステップ①:「しがマイ・タイムライン」の作成(字会)

- (1) 字長が区長さんからの情報を共有  
(危険箇所・避難計画等)
- (2) ハザードマップの確認
- (3) 防災士による「しがマイ・タイムライン」の説明
- (4) 各自家庭で「しがマイ・タイムライン」を作成



〈1週間後〉

- (5) 「しがマイ・タイムライン」の共有・発表
- (6) 地域の方・防災士からのアドバイス
- (7) アドバイスをもとに自分の  
「しがマイ・タイムライン」を修正
- (8) 中学生への期待・メッセージ



## ステップ②:避難訓練 ～守られる立場から守る立場へ～

### 【避難訓練の想定】地震・震度6強

- ・現在の一次避難所（各字会教室）から広域避難所（体育館）に避難する。
- ・各字には災害弱者（高齢者・体が不自由な人・日本語が話せない人など）がいるので、適切な介助を考え、協力して避難する。

### 【災害弱者の役割（地域の方・保護者・教員）】

- ・私は90歳です
- ・私は目が見えません
- ・私は足を骨折しています
- ・私は耳が聞こえません
- ・私は妊娠しています
- ・私は日本語が話せません



東近江市立能登川東小学校



スクールステイプロジェクト



## 事前学習



校区の災害の想定



ハザードマップから発見



かまどベンチづくり



アルファ米



# 東近江市報告 スクールステイプロジェクト

## スクールステイ体験

### 【災害の想定】

- ・大雨による愛知川での洪水が発生
- ・新型コロナウイルスが流行している
- ・避難時期の気候等（例：昼は暑いが夜は肌寒い）

## 事後学習

### 【振り返りの視点】

- ① 避難所での問題点や課題
- ② 具体的な対応策
- ③ 避難所運営会議の体験

避難所の設営



避難所運営会議



簡易担架



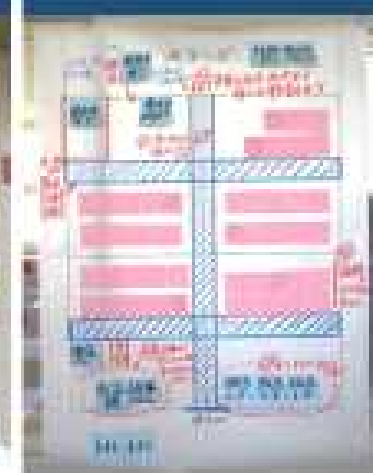
新聞スリッパ



避難所案



防災ポスター





## 学校安全教育の取組について

## 避難訓練・防災教育の取組 日野町立桜谷小学校の事例

## ○桜防災学習

- ・総合的な学習の時間に防災安全マップ作成
- ・地区防災訓練にその地区に住む6年生が参加し、防災マップを使って危険個所の説明をした。文化祭で発表した地区もある。また、各地区で作成した防災マップを「小学生の防災探検隊マップコンクール」に応募した。

## ○通学合宿

- ・公民館が5, 6年生を対象に通学合宿を開催し、防災テントを使って宿泊した。
- ・合宿の最終日に桜谷消防団主催の防災訓練にも参加し、ロープワークや放水訓練を体験した。

## ○日野高校生との避難所開設体験

- ・日野高校1年生が防災学習の一環として避難所開設実習を桜谷小学校体育館で行い、桜谷小6年生児童が避難者となって高校生が対応するという体験の機会があった。この経験により避難所運営の方法や課題について知ることができた。

# 豊郷町安全教育の取組 ～体験を通じた防災教育～

## 2 防災かまどベンチの製作



- ・災害時に活用できる「防災かまどベンチ」の製作体験した。
- ・滋賀県建設産業団体連合会から14名来校。2011年度から県内の指定避難所などに無償で設置をする事業の一環として行われた。
- ・避難所の役割、防災の備え（防犯グッズ・防災マップ）や防災かまどベンチの効果などについて教えていただいた。
- ・ベンチの土台となるレンガを積み重ねながら、モルタルで接着する作業を体験した。

○単に災害時に役立つ設備を作ったというだけではなく、製作の過程を通して、**災害時を想像し、防災意識を高めることができた。**

